

黄輝光一著「告白」(短編集)

読書感想会

高輪サロンに参加されている黄輝(本名:篠原)氏が9月にコールサックス社から標記の単行本を出版されました。

「生き抜くことがすべて、医者に見放された脳で書いた、奇跡の出会いの物語、あなたの魂に語りかける珠玉の短編集、ちょっと立ち寄ってみませんか、人生の喫茶店」
(本書のカバー表紙から)

「私は3度も脳梗塞で倒れ救急車で搬送、脳の血管はボロボロ、緊急性のある危機的状況にあると医者から宣告されています。しかし私は手術を断固拒否しています。私の余命は0(ゼロ)ヵ月です。死を受け入れる選択をしました。だが2年経って今なんと元気なんです!」と彼は周囲の人達に澁刺(はつらつ)とお話されます。

今回の高輪サロンでは最初にこの本が出版された背景について彼に語っていただき、次に9月の高輪サロンで既に配布されている「告白」を読まれた方々から感想をお聴きし、その感想の中から人生の様々なテーマを抽出、人間はどのように生きるべきなのか?私達はどのような死生観を持つべきなのか?等々について語り合い、深め合いたいと思います。

多くの方々が参加されますようご案内いたします。

日 時 : 2018年10月15日(月)

会 場 : 東京療院新館 セミナールーム

会 費 : 無 料 JR品川駅徒歩5分

連絡先 : 080-5088-5348 古久保